

様式第2号（第9条関係）

會議録

会 議 の 名 称		第 8 回ふじみ野市地域公共交通活性化協議会	
開 催 日 時		平成 2 8 年 1 2 月 2 0 日 (火) 開会時刻 午前 1 0 時 0 0 分 閉会時刻 午前 1 2 時 0 0 分	
開 催 場 所		ふじみ野市大井総合支所 1 階 災害対策室	
出席した者の氏名		役職名	氏名
		会長	久保田 尚
		委員	永田 喜雄 (代理)
		委員	栗原 大統 (代理)
		委員	原口 一郎
		委員	菊池 誠 (代理)
		委員	小谷 義行
		委員	藤田 貢 (代理)
		委員	梶村 善忠
		委員	西村 幸久
会 議 の 議 題		(1) 市内循環ワゴン実証運行利用実績 (報告) (2) 平成 2 8 年度ふじみ野市地域公共交通活性化協議会補正予算 (第 1 号) について (3) 市内循環ワゴンの本格運行計画 (案) について	
会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別		公開	
会議の非公開の理由		—	
傍 聴 人 の 数		6 人	
発 言 の 内 容		別紙「発言の要旨」のとおり	
会 議 資 料		別添のとおり	
事 務 局		都市政策部都市計画課	
議事の確定	確定年月日	平成 2 9 年 1 月 8 日	
	記名押印	役職名 会長 久保田 尚 ㊟	

発言者	発言の要旨
久保田会長	1 議題 (1) 市内循環ワゴン実証運行の利用実績（報告） 委員から発言なし。 (2) 平成28年度ふじみ野市地域公共交通活性化協議会補正予算（第1号）について 委員から発言なし。 それでは議題2についてお諮りしたいと思います。議題2の平成28年度ふじみ野市地域公共交通活性化協議会補正予算（第1号）について原案のとおり承認される委員は挙手でお願いいたします。 - 全員挙手 -
	久保田会長 賛成多数でございますので、議題2の平成28年度ふじみ野市地域公共交通活性化協議会補正予算（第1号）は原案のとおり可決、承認されました。 原案の通り承認された。 (3) 市内循環ワゴンの本格運行計画（案）について 水谷委員 資料1の3頁の1便当り平均利用者数では、時間帯により著しく低いダイヤがあります。例えばDコースの18：00便では0.18人/便となっており、これが1週間換算しますと、1人乗っているかどうかということになります。新しい計画にも反映されていますか。 事務局 利用が少ないから本数を減らしますと、ますます利用が少なくなるという負のスパイラルに陥ることになるため、出来るだけ効率的な運行をして、便数を確保していきたいと考えています。時間帯によっては利用者数が非常に少ない便がありますが、Dコースの0.18人/便は、新しいDコースの三ヶ島街道を經由する便で、18時便のお客様が少なかったため、早めに撤収するよう最終便を16時30分としています。今まではその後もう1便運行していましたが、需要が少ないため、早めに切り上げるようにダイヤを組んでいます。 栗原委員 モリタリング便の運行ダイヤについてですが、運行時刻表のCコースとDコースのモリタリング便については、回送の活用ということで、効率的な運行を考えると一定の理解はできるものと考えています。しかしながら、CコースとDコースについては当社の路線バスと競合する形となっているため、民間バス事業者と競合すると影響が出かねません。そのため、本格運行でなく、モリタリング便ということではあるものの、少しずつ収支が良くなり、便数が増えた場合、民間バス事業者への影響が出てくるので、モニタリング便については競合するバス事業者と協議させて頂きたいと考えているため、よろしくお願い致します。

発言者	発言の要旨
事務局	当然、市で行うワゴンは地域交通活性化協議会の中で民間路線バスと連携して行っていくことが大前提と事務局も考えています。今回はモニタリング便として調査運行という位置付けですが、実際に需要があるのか、民間バス事業者にどの程度影響があるのかということを検証していきたいと考えています。モニタリング便の需要があるからと言って民間企業の経営を圧迫してはいけないと考えているため、運行について御理解して頂きたいということと、路線バス利用者の動向把握についても民間バス事業者に御協力頂きたいと考えています。まずは社会実験的なものとして御理解頂きたいと思います。
柳沢委員	前回、ワゴン車の車いす利用者は0だと報告がありましたが、ダイヤを見ると、車いす利用者は利用し難くなります。後ろのリフトに乗る時、最低5分前後は掛かるため、注釈にダイヤの遅延や変更がある旨を記載して欲しいと思います。
事務局	前回も車いす利用者にとってハード的な面で追いついていないという意見がありましたが、今後の検討材料として頂くとともに、是非とも車いす利用者にも利用して頂きたいと考えています。ダイヤを考えるにあたっては、なるべく渋滞等やお客様の乗降にある程度余裕があるように、ダイヤ設定したつもりです。実際に各コース全て各停留所で停車し、何分かかかるかの記録をとって作成したため、渋滞やイベント等で遅れる場合はあるとは思いますが、運行事業者とも協議を重ね、概ね大丈夫ではないかと考えています。また、どこの停留所で車いすの方が乗り降りしやすいのかの表示は新しいマップには掲載し、広報していきたいと考えています。
風間委員	運賃について近所の高齢者の方から高いという意見が結構あります。使用する方の人数が少なく、費用が掛かるということで仕方がないと思いますが、多くなれば安くなる可能性があるということですか。
事務局	このワゴンは満員になっても事業費は回収できないのが現状です。それだけ公費負担がある中で、ふじみ野市としても地域の足を確保し、公共性があるということで運行しています。市内の民間路線バスの初乗り運賃は180円と200円があり、180円にすると200円の民間路線バスに影響が出てしまうため、200円に合わせていますが、1日乗車券を400円として割引をしています。他にも考えていく予定ですが、今の状況は非常に厳しい状況となっているため、利用者からの一定の負担については御理解頂きたいと思っています。
六所委員	新コースの4コースについて運行時間帯を例示していますが、運行事業者では運転手の労務時間があると思うが、配慮された計画となっていますか。

発言者	発言の要旨
事務局	バス事業者の労務時間等は規定がありますが、例えば4時間連続で運転したら30分休憩を取るということや、1日の拘束時間は何時間以内、1週間の運転時間は何時間以内ということは確認しています。ダイヤを組む際にも労務計画を立てながら運行事業者と一緒に考えているため、問題ないものと理解しています。
久保田会長	他にはよろしいでしょうか。それでは、他に御意見等がないようでしたら、議題3についてお諮りしたいと思います。市内循環ワゴンの本格運行計画（案）について承認いただける方は挙手をお願いします。
久保田会長	- 全員挙手 - 賛成多数でございますので、議題3の市内循環ワゴンの本格運行計画（案）は原案のとおり可決、承認されました。
久保田会長	2 その他 続きまして、その他といたしまして、事務局から報告等ございましたらお願いします。
事務局	市内循環ワゴンのスケジュールについてご連絡いたします。本協議会で承認されました市内循環ワゴンの本格運行計画に基づき、速やかに国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局へ許認可申請の手続きに着手いたします。次回の第9回協会協議会は、今年度最終回ですが、平成29年3月下旬頃を予定しています。詳細な日程等が決まり次第、皆様にご連絡させていただきます。よろしくお願い致します。
久保田会長	これをもちまして、第8回ふじみ野市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。